

令和4年度第1回川南町総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和4年10月21日（金）午前10時30分～11時50分
- 2 場 所 川南町生涯学習センター1階会議室
- 3 出席者 日高昭彦町長
坂本幹夫教育長、川添健一教育長職務代理者、富山美津子委員
本多京子委員、椎木祐司委員
学校教育関係：小野智充国光原中学校校長、根井誠山本小学校校長
社会教育関係：杉田シゲ子代表社会教育委員
山本博教育課長、平部至識教育対策監、橋口実課長補佐
押川明雄課長補佐兼生涯学習係長、今井妙学校教育係長
今山直樹教育施設係長

○橋口

ただ今から「令和4年度第1回総合教育会議」を開会します。まず初めに、川南町長日高昭彦が御挨拶申し上げます。

○町長

おはようございます。昨日まで北海道に出張していました。やはり寒いですね。日本は縦長だなあと、文化も違うなと感じたところでした。先ほど、長寿会スポーツ大会の挨拶の中でも言いましたけれども、コロナで分かったことは、人は直接会っていろいろなコミュニケーションを取ることが大事であり、時代が変わっても、状況が変わっても大事にしていかなければなりません。それは、我々にとっては子ども達への教育かもしれませんし、大人にとっては学び続けることなのかなと、北海道でいろいろな話を聞く中で改めて感じたところです。本日は、限られた時間の中ではありますが、よろしくお願ひします。

○橋口

ありがとうございました。続きまして、3、教育施策及び予算等の意見聴取に入ります。総合教育会議は、町長が招集することとなっていますので、町長に会議の議長をお願いしたいと思います。

○町長

それでは、学校教育関係、社会教育関係とありますが、まず、学校教育関係からお願いいたします。

○小野校長

はじめにお礼を申し上げます。本年度も新型コロナウイルス感染症対策で十分な予算をつけていただきありがとうございました。各学校では対応に苦慮しながらも、学びを止めないために予算を活用して対策を講じているところです。また、9月から10月にかけて実施した体育大会、運動会への御出席ありがとうございました。元気な子どもたちの姿を見ていただけることができ、ほっとしています。

では、資料について説明いたします。今回の会議に出席するにあたり、校長会として話し合いを行い、資料を作成しました。「ふるさと川南の教育」の施策目標の4つ

の観点から、学校が町から受けている又は今後お願いしたい具体的な支援、援助について箇条書きで示しております。各項目の終わりに継続とあるものは続けて支援していただきたいこと、拡充とあるものはさらに充実していただきたいこと。新規とあるものは来年度から新たに支援していただきたいことです。

施策目標Ⅰの（１）については、体制づくりや地域学校協働活動推進員の参加、運営の指導、助言をいただいております。感謝いたします。

施策目標Ⅱの（１）も主に地域学校協働活動推進員の多大なる尽力を得て、学校と地域をつないでいただき、様々な学習・行事を実施することができています。（２）から（７）までは未来を担う人材を育むための経済的支援です。児童・生徒の将来のために多くの補助をしていただきありがとうございます。

施策目標Ⅲの（１）人的配置の⑤の本年度からの配置をはじめとして、⑥⑦⑧⑨⑩は教職員のサポートのみならず児童・生徒の教育に大きく寄与するものとなっています。⑧⑩については教員の働き方改革のためにもさらなる拡充をお願いいたします。

さて、①のお願いですが、次年度多賀小、山本小で国や県の基準では複式学級、つまり二つの学年に対して１人の教員しか配置がないこととなります。多くはへき地で実施となる複式学級ですが、多賀小、山本小では基準ぎりぎりの１４、１５名の二学年を一緒に授業等を行うことになり、学力向上をはじめとして児童にマイナスの影響が出るのではないかと危惧しています。

②のお願いは国光原中です。現在１年生は２クラスですが、国、県の基準では２年生になると１クラスになります。小学生の時に学級崩壊を経験した生徒も含まれ、指導に配慮の必要な生徒もいます。現在は２名の担任の指導で比較的落ち着いていますが、１クラスになると指導困難になる可能性があります。③は多くの学校で喫緊の課題です。欠員や長期の休みを取る先生の代わりが見つかりません。現在も唐瀬原中で探していますが、昨年度から本年度にかけて町内の数校が頭を悩ませてきました。これは全国的、全県的な傾向であり、現在、各学校の校長が探すこととなっていますが限界があります。ここに行政がかかわっていただけるとありがたいです。④については、本町は未だに教員がお金を扱っている状況が続いています。この解消をお願いできればと思います。

（２）の通級を希望する児童生徒が増えており、現在の体制では対応できなくなっています。県への働きかけと新たな体制づくりをお願いしたいと思います。（４）から（７）の説明については割愛いたします。

施策目標Ⅳについても、（１）から（３）と多くの支援をいただいております。

（４）については前述の部活動指導員の拡充ともかかわっていますが、町教育委員会も尽力していただけるということで有り難く思っています。

以上で説明を終わります。

○町長

ありがとうございました。根井校長先生お願いします。

○根井校長

少しだけ補足させていただきます。

教育長は常日頃から校長会に対して、川南町の最大の課題は子ども達の学力向上であ

るので、これを命題として学校経営をしっかりとやるようにとおっしゃっています。校長会は、このことを受けて日々努力をしております。しかし、学力向上に関して、次年度危機的状況に陥りそうになっています。それは、先ほど小野会長からも説明があったとおり、多賀小学校と山本小学校では二つの学年を一緒にした複式学級にしないといけないということです。具体的に言うと、基準では新2年生と新3年生の児童数が合わせて16名以上いれば、二つに分けられます。実際のところでは、多賀小学校が15名。山本小学校が14名の予定となっています。なかなか転校生も望めないと思いますので、このままいけば複式学級となります。2年生と3年生では、授業の内容が大きく違います。例えば、2年生では、社会科と理科の時間はなく、国語が多くなり、生活科もあります。3年生では、社会科と理科の時間があり、国語が少なくなります。そして、外国語活動が始まります。よって、2、3年生が一緒になった学級を受け持つ先生には、かなりの負担を掛けることになりまして、それ以上に子ども達へ負担が掛かるのではないかと危惧しています。当然、保護者も勉強の遅れ等に不安を持つのではないかと思います。町独自の常勤講師任用について、町長の御英断をお願いします。私からは以上です。

○町長

ありがとうございました。社会教育関係も聞いてから、協議に入りたいと思いますので、杉田社会教育委員よろしくをお願いします。

○杉田社会教育委員

杉田と申します。よろしくをお願いします。

社会教育全般につきましても、御理解、お力添えをいただきありがとうございます。はじめに、社会教育の現状と課題です。

(1) 社会教育分野においては、社会教育の再生が課題となっています。本町でも地域のつながりの希薄化が進み、その再生が課題と考えます。そんな中、コロナ禍によって様々な機会が奪われていることから、ICTの利活用など、対面だけに頼らない方法で課題解決を目指す必要があります。また、自治公民館や各種社会教育団体など、様々な分野と連携していくことが求められています。

(2) 文化財の保護については、町内で出土した埋蔵文化財や歴史・民俗資料の保存や今後の利活用が課題です。また、案内看板設置後の後牟田遺跡の整備と適切な管理が求められます。

(3) 生涯スポーツの推進については、コロナ禍により様々なスポーツ活動が制限を受けているなか、高齢者のスポーツ人口が伸びており、スポーツ推進委員の派遣も高齢者関係が多い状況です。その反面、子供の運動基礎能力の低下が進んでおり、何らかの対策が必要な状況です。

(4) 図書館の活用については、川南町読書推進計画が策定されたので、さらに町民の読書意識の向上を図る必要があります。図書館では、様々なイベントを企画し、館内にとどまらず移動図書館も実施しております。

(5) 文化ホールの活用については、コロナ禍や施設改修により完全に停滞していましたが、感染防止対策を行いながら徐々に実施できるようになってきました。体制については、文化サポーターの高齢化と人材確保が懸案事項です。

次に、課題解決に向けてです。

(1) 社会教育全般については、「生涯学習まちづくり推進計画」に沿った事業の運営と実施及びそのための職員配置が必要と考えます。また、地域学校協働活動の積極的な推進とwithコロナに向けた地域の拠点施設等の通信環境の整備も必要と考えます。

(2) 文化財の保護については、歴史民俗資料の整理・保管方法については、既存施設の利活用も求めます。その他、後牟田遺跡については、文化財指定に向けての整備を求めます

(3) 生涯スポーツの推進については、スポーツ推進委員とその活動について積極的な広報を行うなどの周知を求めます。その他、スポーツをしない方々への働きかけとして、SALKO（サルコー）の推進と他事業との連携を求めます。

(4) 図書館の活用については、図書館からの今以上の積極的な情報発信や、図書館に来たくなるようなイベントの実施を求めます。

(5) 文化ホールの活用については、文化サポーターの高齢化解消と確保に向けて、今以上の広報活動を求めます。その他、役場職員や町議会議員など影響力のある方たちのイベント参加を求めます。

以上が、社会教育分野の各団体から意見聴取を行い、とりまとめた意見です。

○町長

ありがとうございました。意見交換を行いたいと思います。まずは、学校教育の方から行いたいと思います。質疑のある方は、お願いします。

○椎木委員

両校長先生から熱い思いを聞かせていただきました。ありがとうございます。そこで、質問です。施策目標Ⅲ（1）人的配置の説明の中で、講師不足により欠員補充はなかなか難しい現状であるとのことですが、①、②では町独自の常勤講師、会計年度講師の配置を要望されています。予算が付けば、人は見つけられるということによろしかったですか。

○小野校長

何はともあれ、予算がない事には講師を探すこと、お願いすることもできません。予算が確保できれば、各校長は最大限の努力をします。たとえ、年度始めの4月から採用できなかったとしても、ずっと探し続けることになります。

○町長

人員確保については、大変重たい問題ではありますが、子ども達のためということであれば、予算を確保していくのは当然のことではないかと考えています。教育長から何か意見はありませんか。

○教育長

私の経験から言わせてもらいますが、都城のへき地の学校に勤めているときに、3年、4年生の複式学級の担任をしたことがあります。3年と4年生は、教育課程が似ている面もありますので、当時は工夫をすれば何とか対応できました。しかし、先ほど根井校長先生も言われたとおり、2年と3年生では教育課程が大きく違いますので、難しい面があります。このような状況になりそうだという報告を受けた後に、町長、副町長には相談に行ったところでした。先ほど町長からは前向きな言葉をいただきましたので、大変

ありがたく思っています。通常では、3月の講師交渉解禁日以降でなければ、声を掛ける訳にはいきませんが。町雇用となりますので、予算の確保見込みができれば、先に押さえることは可能ではないかと思えます。それをすることによって、児童、保護者の不安解消、教員へ負担を掛けることもなくなり、先ほども出ました学力向上が確保できるのではないかと考えます。

○町長

課長は何かありますか。

○課長

複式学級で町雇用の常勤講師を2人雇用するとなると、1,000万円近く必要になると考えられます。しかし、複式学級となると先ほどから出ているような問題が発生するということですから、当初予算には、予算要求したいと思えます。

○町長

小規模特認校制度を使えば、川南小学校校区から山本小学校に通えたと記憶していますが、この制度を使えませんか。

○教育長

小規模特認校制度は、原則新入生に限るとなっていますが、特に教育委員会が認める場合は、他学年からも可能ではあります。しかし、現実的には難しいかと思えます。

○町長

わかりました。その他質疑はありませんか。

○川添委員

臨時講師の確保については、校長先生が行うということですが、教育課では関わらないのですか。

○根井校長

昨年度、急遽休職をされたり、産休・育休が発生したりとありました。その際は、教育長、対策監からサポートをいただきました。しかし、全県的に講師不足は叫ばれています。他校では、講師募集をハローワークに依頼したとの話も聞いています。そのような中、近年若い方が採用になっているので、産休・育休取得者が増えてくると予想されます。講師確保は喫緊の課題ですので、川南町独自の講師人材バンクを創設していただくように検討して欲しいと思えます。

○町長

現状と課題は明確に分かっています。追い詰められた状況になって動き出しても間に合いませんので、何年も前から準備をしなければなりません。現在、本当に若い人がいないという現状です。予算のことで問題が解決できるのであれば、何とかなるかもしれませんが、人がいないということは、なかなか解決できない問題です。この問題は、終わりがありませんので、次の話題にいきたいと思えます。何かありますか。

○富山委員

施策目標Ⅲ(2)の通級教室について、増えてきているとの説明でしたが理由が何かあるのですか。

○小野校長

これは、特別支援教育が充実してきたからだと思えます。特別支援学級には入るほど

でないけれども、週に1、2時間通級して、その子の特性に合った教育を受けています。

○富山委員

保護者が特別支援教育を理解し、偏見がなくなってきたことによるものと考えればいいでしょうか。

○小野校長

そうだと思います。

○教育長

補足します。LDは学習障害、ADHDは多動性があると言われています。このLDとADHDと診断を受けた児童生徒は特別支援学級に入ることは出来ません。そのため、通常の学級で生活しながら、その子の特性に合った指導を行うために今年度から通級教室を川南小学校内に開設したところです。

○町長

他に質疑はありませんか。

○本多委員

施策目標Ⅲ（3）に給食費の補助とあります。現在はコロナの関係で半年間の補助が出ていて、保護者も大変助かっていると聞いています。給食費の補助は今後も続くのでしょうか。

○町長

今年度は、国からの予算が来ましたが、来年度については未定です。

○町長

引き続き、社会教育についての意見交換を始めます。何か意見はありませんか。

○押川補佐

補足説明をします。各団体の社会教育委員から意見聴取をして、いろいろな意見をいただきました。その中で、文化財保護について、日向市の事例では学校統合に伴い、学校跡地を文化財保管庫として利用されています。本町も中学校統合を進めていますので、委員から「両中学校どちらかの跡地を利用してはどうか？」というような具体的な話が出ています。数々の文化財を保有していますが、なかなか人の目に触れる機会が少ない状況ですし、学校教育でも利活用してもらいたいという意見が出ました。この件については、中学校跡地検討委員会も出来ております。私もこの会のメンバーになりますので、会議の中で意見を出していきたいと考えています。

○町長

文化財保護の説明がありました。この件も含めて意見はありませんか。

○川添委員

後牟田遺跡について、文化財指定に向けて整備を進めて欲しいとあります。私はこの遺跡の価値等をよく理解しておりませんが、どの程度のものになるのでしょうか。

○押川補佐

文化財保護委員の方から、全国的に見ても価値のあるもので、数万年前の物が発掘されていると聞いています。大学の調査が行われたのは相当前になります。調査後埋め戻しを行っていますので、現場に行かれても何もわからない状態になっています。

○町長

他に意見はありませんか。

○教育長

対策監がまとめてくれた「ふるさと川南の教育」に関するアンケート結果では、文化財に関して知らないと答えている保護者が4割位います。何とか周知するために、新しいパンフレットを作ったり、徳田主任技師が各種団体に呼ばれ講演をしたりしています。先ほど、押川補佐から話がありました文化財の保護については、国の天然記念物である川南湿原、文化財としての評価が高い後牟田遺跡及び町指定の天龍梅も含めて、学校跡地に文化財を置く部屋を作るだけではなく、川南町の歴史を語る人、できればボランティアの方を配置したスペースができないかと考えています。

○町長

誰かが伝えないと知らないということになります。中学校の跡地利用についても今後検討していきたいと思えます。その他何かありませんか。

○課長

資料で文化財指定に向けてとあります天龍梅の件ですが、ようやく令和4年4月1日付けで町指定になったところです。今後は、県指定に向けて取り組んでほしいということとして承ります。

○町長

予定の時間を過ぎておりますので、3の教育施策及び予算等の意見聴取、4の意見交換については終わりたいと思えます。小中学校校長会の小野校長と根井校長及び社会教育委員代表の杉田様におかれましては、ここまでとなりますが、今後ともそれぞれの充実のために御尽力いただきますようお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

[小野校長、根井校長、杉田社会教育委員 退席]

○町長

それでは、5の協議に入りたいと思えますが、教育政策及び予算等についてとなっております。よろしくお願ひします。事務局から何かありますか。

○橋口

担当係長が来ておりますので、詳しく聞いておきたい事項等ありましたら、せっかくの機会でございますので、よろしくお願ひします

○町長

何か意見はありませんか。

○川添委員

トロントロンドームの補修工事が始まったようですが、中学校建設について要望を伝えておきます。デザインにこだわらず、後のメンテナンス費用が掛からないような建物となるようにお願ひします。

○町長

しっかり検討していきます。

○椎木委員

トロントロンドームに掛かる年間費用はどのくらいですか。

○押川補佐

指定管理者に支払っている管理料が年間7205万円です。今年度の防水工事関係では、予算ベースで施工監理料も含めて1億円弱、文化ホール内の設備も老朽化が進んでいますので、吊物・音響設備の更新工事で2500万円程予算計上しています。来年度は、さらに更新費用が掛かる予定となっています。

○椎木委員

これから作る中学校では、ランニングコストを考えた設計をお願いします。

○橋口

照明、空調、給水設備などランニングコストが抑えられる設計をしっかりと取り入れていきたいと考えています。また、太陽光発電、蓄電池、地熱の利用などの費用対効果も検討していきます。

○町長

それでは、5の協議を終わります。これで、事務局にお返しします。

○橋口

ありがとうございました。続きまして、6のその他になります。何か全体を通してでもよろしいですし、その他、別のことで構いませんので御意見がございましたら、御発言をよろしくをお願いします。

〔「なし」という声あり〕

○橋口

よろしいでしょうか。それでは、御意見もございませんので、以上をもちまして令和4年度第1回総合教育会議を終了します。お疲れ様でした。

上記は、令和4年度第1回川南町総合教育会議のてん末に相違ないことを証明する。

令和4年11月25日

川 南 町 町 長

日高昭彦

川南町教育委員会 教育長

坂本幹夫